

# 川越市下水道事業 雨水管理総合計画

## 雨水管理総合計画の目的

雨水管理総合計画は、下水道による浸水対策を実施する上で、当面・中期・長期にわたる、下水道による浸水対策を実施すべき区域や目標とする整備水準、施設整備の方針等の基本的な事項を定めることで、下水道による浸水対策を計画的に進めることを目的とするものである。

出典：雨水管理総合計画策定ガイドライン（案）平成29年7月

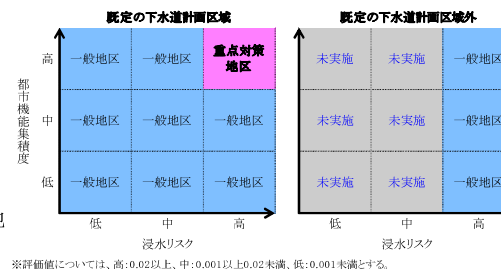


## 川越市雨水管理総合計画

川越市全域を対象区域とし、既定の下水道雨水計画における排水区を基本に、地形・地勢状況、既存の浸水被害等を考慮し、126ブロックに分割しました。浸水リスクの想定として地表面氾濫モデルを用いた湛水深解析を行い、浸水危険性の高いエリアを想定しました。簡易シミュレーションにより得られた本市内の浸水被害額等により浸水対策実施区域及び整備目標を設定しました。その結果より順次浸水対策を計画していきます。

## 浸水対策実施区域の設定

浸水対策実施区域は浸水リスク及び都市機能集積度の評価を踏まえ、以下の様に設定した。  
 ・雨水整備事業の連続性の観点から、既定の下水道計画区域は浸水対策実施区域とする。  
 ・既定の下水道計画区域外においては、参考データとして浸水リスクの評価が「高」以上の地区を浸水対策実施区域と想定する。



※評価値については、高:0.02以上、中:0.001以上0.02未満、低:0.001未満とする。

図-2 浸水対策実施区域の設定マトリクス

## 地域ごとの整備目標設定

### 【重点対策地区】

・浸水リスク及び都市機能集積度が共に高く、早期の浸水軽減を図るため整備目標を1ランクアップする。（3年確率(1/3)→5年確率(1/5)）  
 ・既定計画において5年確率の箇所については浸水実績箇所に対する+αの対応とする。

### 【一般地区】

・浸水リスク及び都市機能集積度のどちらかが高いA・B地区は、浸水実績箇所に対する+αの対応とする。

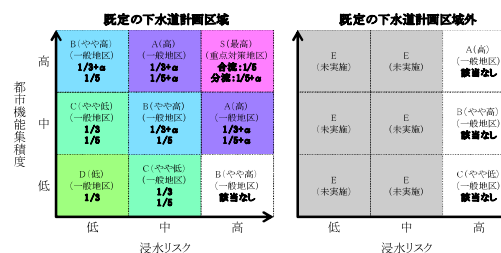


図-3 整備目標の設定マトリクス

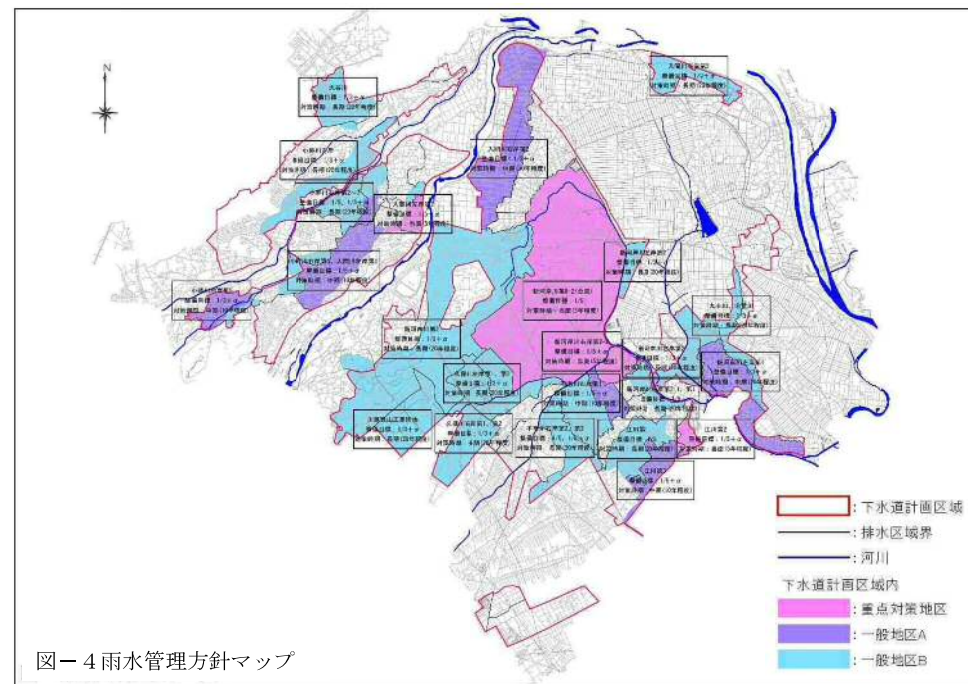
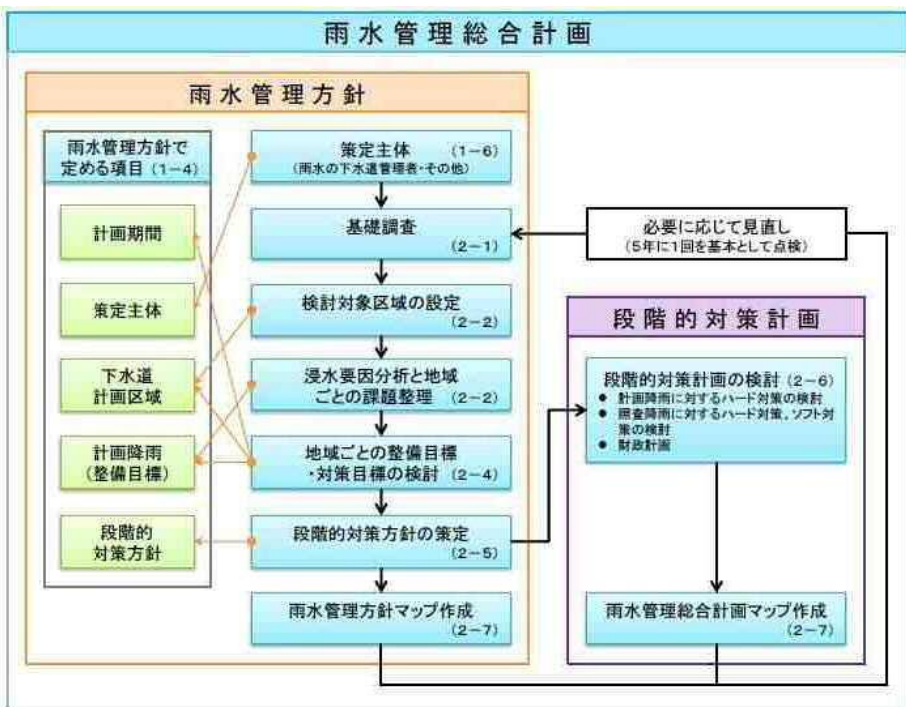


図-4 雨水管理方針マップ

図-1 雨水管理総合計画の検討フロー（出典：雨水管理総合計画策定ガイドライン（案）平成29年7月

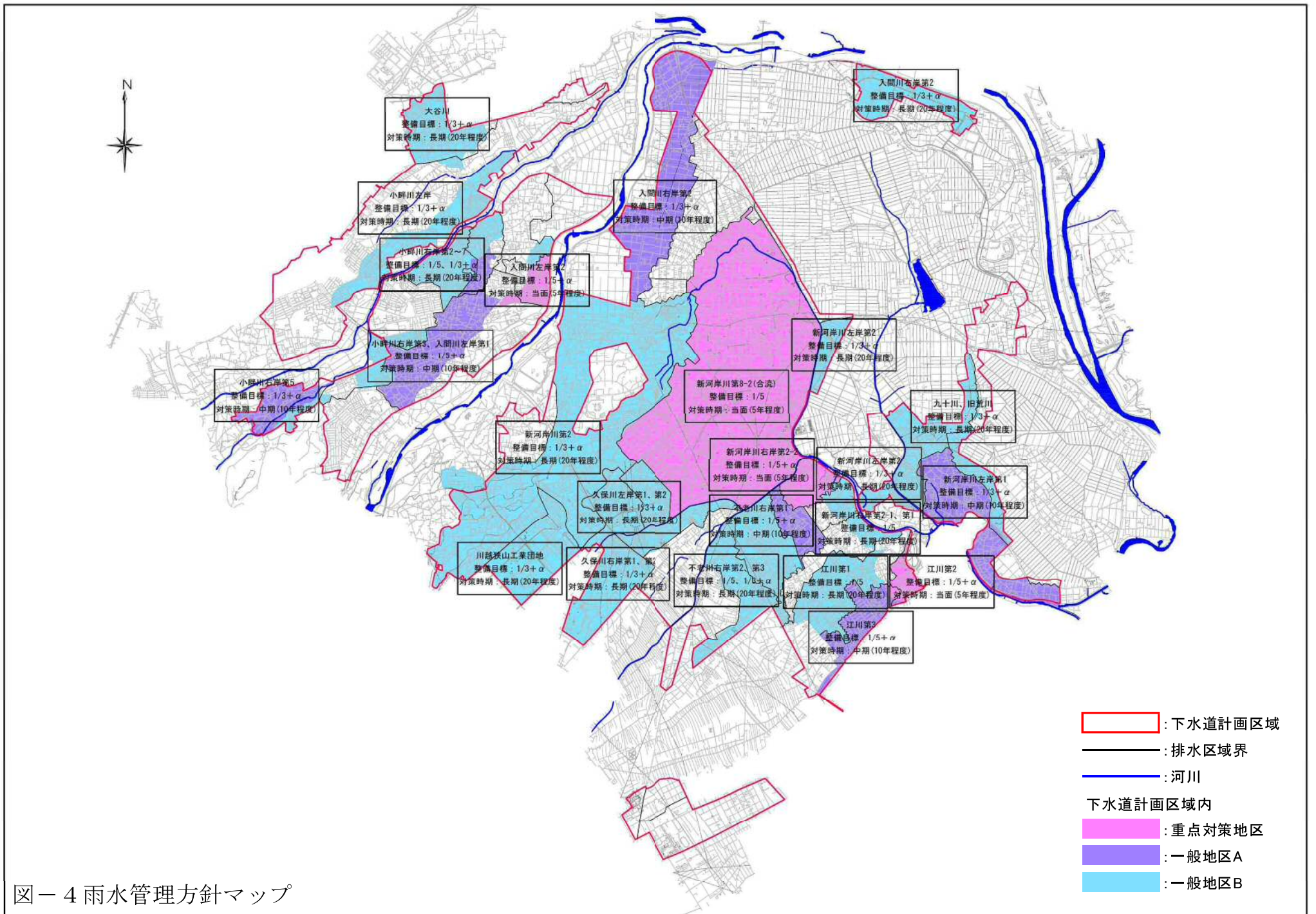


図-4 雨水管理方針マップ